お知らせ

～北海道糖尿病対策推進会議より～
「糖尿病診療従事者スキルアップセミナー」のご案内

◇地域保健部◇

1．趣旨
糖尿病患者に対する現在推奨されている標準的な治療については、日本糖尿病学会の作成した「糖尿病治療ガイド」、さらにこれを要約した日本糖尿病対策推進会議作成の「糖尿病治療のエッセンス」に紹介されています。しかし、一般医家が日々の診療に役立てるためには、実際の治療に即したさらに具体的なテキストの作成が望まれてきました。

そこで、日常診療でよく遭遇するさまざまな症例を想定したケーススタディーテキストを作成し、このテキストを元にした「糖尿病診療従事者スキルアップセミナー」を企画、実行することとしました。

2．作成の経緯
わが国における糖尿病患者数は、依然として増加に歯止めがかからず、厚生労働省の平成19年度調査では、「糖尿病が強く疑われる」者が890万人、「糖尿病が否定できない」者、いわゆる予備群を合わせると、2,210万人とされています。

北海道でも、平成20年に作成された北海道医療計画（北海道保健福祉部　編集）において、「糖尿病が強く疑われる」者が40～74歳で19万７千人、「糖尿病が否定できない」者と合わせると、43万１千人と推定されています。この数値は平成18年までの統計を基にしていますので、現在の実数はさらにこれを上回るものと推定されます。

これに対して北海道内の糖尿病学会専門医数は149名（平成22年２月）に過ぎず、多くは札幌市・旭川市などの都市圏に集中しています。以前に糖尿病学会専門医と北海道医師会員を対象におこなったアンケートにおいても、一般医家が多くの糖尿病患者を診療されていること、病診連携の意義は認識されているが内容は十分とは言えないこと、糖尿病学会専門医に相談したいことはあるが症例検討の機会は少ないこと、などが浮き彫りとなりました。

「日本糖尿病対策推進会議」は糖尿病に対する治療や対策を全医療関係者および患者も一丸となって推進すべく、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、平成17年に設立されました。同時に各都道府県においてもそれぞれ地域の実情に根ざした活動を進めることとなり、平成19年３月に「北海道糖尿病対策推進会議」が正式に設立されました。

今回の「糖尿病診療従事者スキルアップセミナー」は、「北海道糖尿病対策推進会議」*の活動の一環として企画・作成されたものです。

3．スキルアップセミナーの内容
テキストの作成は糖尿病学会北海道支部に所属する学会認定専門医が担当し、さらに内容・表現を北海道医師会と協議いたしました。実際の外来診療を念頭に、糖尿病治療ガイドに準拠しつつ、一般医家に理解しやすい内容となるように工夫しました。テーマは以下の５項目です。

1）初診糖尿病患者の診察の要点と治療方針の立て方
2）経口糖尿病薬の選択と評価、追加や変更の要点
3）インスリン療法の要点
4）高血圧、脂質異常症合併糖尿病患者の治療と動脈硬化性合併症の予防の要点
5）細小血管合併症（網膜症、腎症、神経障害）治療の要点

それぞれのテーマごとにほぼ30分で完結するようにテキストは作成されています。テーマによっては複数のテキストを準備いたしました。

多数の聴衆に対する一方的な講演ではなく、症例検討会のスタイルで双方向の意見交換ができる環境を想定しています。１回のセミナーで20名以下程度が望ましいと思います。

例えば、経口薬の選択とインスリン療法の要点をテーマとして希望されれば、それぞれのテキストを使って各30分＋質疑応答。さらに参加の医師より持ち寄られた症例の検討会を加えて、全体で２時間程度のセミナーに組み立てることができます。あくまでも参加される実地医家のニーズに応えられるような内容にすることを心がけてまいります。コメディカルの方が参加されてもよろしいかと思います。

4．今後の予定
開催地区が決定しましたら、地元医師会のご協力のもと、当該地区の医療機関宛ご案内させていただきます。

なお、本セミナーの詳細につきましては、北海道医師会事業第四課宛（Tel. 011-231-1727地域保健部担当）、または北海道保健福祉部健康安全局宛（Tel. 011-231-4111、内線25-523）へお問い合わせいただければ幸いです。

平成22年８月

北海道糖尿病対策推進会議幹事
日本糖尿病学会北海道支部評議員　森川秋月

*【北海道糖尿病対策推進会議構成団体】
日本糖尿病学会北海道支部・日本糖尿病協会北海道支部・北海道医師会・北海道歯科医師会・北海道栄養士会・北海道看護協会・北海道・北海道健康づくり財団